

I 調査結果の概要

1 酪農経営

酪農経営の1経営体当たり農業粗収益は4,204万円で、前年に比べて8.8%増加し、農業経営費は3,436万円で、0.3%減少した。この結果、農業所得は768万円となり、83.2%増加した。

2 肉用牛経営

肉用牛経営の1経営体当たり農業粗収益は繁殖牛が616万円で、前年に比べて3.1%減少し、肥育牛が4,104万円で3.9%減少し、農業経営費は繁殖牛が519万円、肥育牛が3,944万円で、それぞれ2.0%、3.9%減少した。この結果、農業所得は繁殖牛が97万円、肥育牛が160万円となり、それぞれ8.4%、3.5%減少した。

3 養豚経営

養豚経営の1経営体当たり農業粗収益は5,219万円で、前年に比べて12.2%減少し、農業経営費は4,823万円で、7.1%減少した。この結果、農業所得は396万円となり、47.5%減少した。

4 採卵養鶏経営

採卵養鶏経営の1経営体当たり農業粗収益は4,166万円で、前年に比べて4.2%減少し、農業経営費は3,817万円で、3.9%減少した。この結果、農業所得は350万円となり、6.8%減少した。

5 ブロイラー養鶏経営

ブロイラー養鶏経営の1経営体当たり農業粗収益は9,389万円で、前年に比べて4.9%減少し、農業経営費は8,840万円で、4.9%減少した。この結果、農業所得は549万円となり、6.2%減少した。

表 畜産経営の農業経営収支（全国・1経営体当たり）

単位 { 金額：千円
増減率：%

区 分	酪 農		肉 用 牛				養 豚		採 卵 養 鶏		ブロイラー養鶏		
	平成 21年	対前年 増減率	繁 殖 牛		肥 育 牛		平成 21年	対前年 増減率	平成 21年	対前年 増減率	平成 21年	対前年 増減率	
			平成 21年	対前年 増減率	平成 21年	対前年 増減率							
農業粗収益	42 039	8.8	6 157	△ 3.1	41 044	△ 3.9	52 194	△12.2	41 664	△ 4.2	93 886	△ 4.9	
農業経営費	34 357	△ 0.3	5 186	△ 2.0	39 443	△ 3.9	48 233	△ 7.1	38 169	△ 3.9	88 395	△ 4.9	
うち飼料	14 583	△ 7.2	1 306	△ 2.2	15 066	△12.5	31 639	△10.0	25 595	△ 6.9	58 626	△ 8.9	
農業所得	7 682	83.2	971	△ 8.4	1 601	△ 3.5	3 961	△47.5	3 495	△ 6.8	5 491	△ 6.2	
経営概況	飼養頭羽数 <small>(頭、羽)</small>	41.3	2.5	12.6	6.8	97.3	0.3	870.3	5.5	13 505	3.8	…	…
	販売数量 <small>(kg、頭)</small>	350 564	3.7	10	11.1	66	△ 1.5	1 553	7.5	221 125	3.9	185 928	3.0
	自営農業労働時間 <small>(時間)</small>	6 079	1.5	2 783	2.3	3 686	1.7	5 232	1.7	6 597	2.0	4 986	0.8

注：1 平成21年の集計経営体数は酪農356経営体、繁殖牛113経営体、肥育牛104経営体、養豚97経営体、採卵養鶏49経営体、ブロイラー養鶏48経営体である。

2 飼養頭羽数は酪農は搾乳牛、繁殖牛は繁殖めす牛、肥育牛は肥育牛、養豚は肥育豚、採卵養鶏は採卵鶏の月平均飼養頭羽数である。また、ブロイラー養鶏は把握していない。

3 販売数量は酪農は生乳生産量、肉用牛は肥育牛販売頭数、養豚は肉豚販売頭数、採卵養鶏は鶏卵生産量、ブロイラー養鶏はブロイラー販売羽数である。